



第79回全日本新体操選手権大会 要 項

主催：公益財団法人 日本体操協会／主管：群馬県体操協会／後援：高崎市、公益財団法人 高崎財団
協賛：チャコット株式会社、伊藤超短波株式会社、株式会社 KG、セノー株式会社
セイコーグループ株式会社、TSP 太陽株式会社、株式会社コミズマ

1. 期日 2026年10月30日(金)～11月1日(日)

10月29日(木)	セッティング／公式練習／審判研修／代表者会議(参加選手団)
10月30日(金)	開会宣言 女子団体総合競技：ボール5(兼団体種目別決勝予選) 男女個人総合競技前半種目(兼個人種目別決勝予選)
10月31日(土)	女子団体総合競技：フープ3・クラブ2(兼団体種目別決勝予選) 男子団体予選競技 男女個人総合競技後半種目(兼個人種目別決勝予選)
11月 1日(日)	男女個人種目別決勝(全種目) 男子団体決勝競技／女子団体種目別決勝 メダルセレモニー及びクロージングセレモニー カッティング

2. 会場 高崎アリーナ 〒370-0846 群馬県高崎市下和田町四丁目 1 番 18 号 TEL027-329-5447

3. 出場資格と条件

- ① 2026年度、(公財)日本体操協会に選手登録した者としてします。
- ② 男子は2026年4月2日現在に中学2年生以上の者(中学2年生含む)とします。
- ③ 女子は2026年4月2日現在に高校1年生以上の者(高校1年生含む)とします。
- ④ 次に挙げる競技会で資格を得た者としてします。

大会名	個人競技			団体競技	
	男子	女子		男子	女子
		出場枠 通過枠	配当 人数		
全国高等学校選抜大会	㉔上位6名	上位3位			
全日本ユースチャンピオンシップ	㉕ ㉔を除く上位6名	上位10名	6名		
男子新体操団体選手権大会				㉖上位3位までのチーム	
全国高等学校総合体育大会				㉖を除く上位6チーム	㉗上位6チーム
全日本学生選手権大会	㉘上位18名	上位10名	9名	上位5チーム	上位6チーム
全日本クラブ選手権大会	㉙㉘㉚を除く上位5名	上位15位			
全日本社会人選手権大会	上位5名			上位2チーム	
全日本クラブ団体選手権大会					㉖を除く上位4チーム

- ⑤ (公財)日本体操協会新体操強化本部より推薦された者。(2名まで)
- ⑥ 男子団体競技は、1チーム最大8名の選手とします。
- ⑦ 女子団体競技は、1チーム最大6名の選手とします。
- ⑧ 団体競技の出場者は、個人競技にも出場することができます。
- ⑨ 個人競技は個人総合出場者のみとし、種目別のみの出場は認めません。
- ⑩ 女子個人競技において、全日本学生選手権大会と全日本ユースチャンピオンシップの配当15名は、前年度の全日本の結果より、上記の表通りの配当人数となります。
- ⑪ 出場所属団体名の記載は2所属*1まで可能とします。なお、申込所属団体(チーム)名が第一所属(2所属表記の場合、前表記)となります。

4. 競技種目と競技方法

〔競技種目〕

	個人競技	団体競技
男 子	スティック・リング・ロープ・クラブ	徒 手
女 子	フープ・ボール・クラブ・リボン	ボール5
		フープ3・クラブ2

〔個人競技〕

- ① 個人総合選手権は、4種目の得点合計により順位を決定します。
- ② 個人種目別決勝は、個人総合選手権での各種目の上位8名により決勝競技を行い、順位を決定します。各種目ともリザーブ選手は1名とします。
 - ※ 種目別決勝リザーブ選手は、決勝競技の競技開始まで有効として準備して下さい。
 - ※ 種目別決勝進出にあたり同点の場合は、男子は競技規則 1.4.9、女子はFIG競技規則に準じタイブレークを行います。
 - ※ 複数種目で決勝進出し、各種目競技間の時間が短すぎる事象が発生した場合、選手の安全等を考慮し大会本部の判断で試技順を調整する事があります。必要性が生じた場合の調整方法は、状況に応じて善処することとし、調整の可否、方法、決定に対して選手並びに所属からの申し出は受け付けないこととします。
- ③ 種目別決勝競技の出場者は、同一所属から3名までとします。(リザーブ選手が同一所属から4名目となることは可能とします)。

〔団体競技〕

- ① 男子・女子とも自由演技のみとします。
- ② 男子団体選手権は、予選競技の上位8チームにより決勝競技を行い、決勝競技のみの得点にて順位を決定します。決勝競技のリザーブチームは1チームとします。
 - ※ 決勝リザーブチームは、決勝競技の競技開始まで有効として準備して下さい。
 - ※ 決勝進出にあたり同点の場合は、競技規則 1.4.9 に準じてタイブレークを行います。
- ③ 女子団体総合選手権は、2種目の得点合計により順位を決定します。
- ④ 女子団体種目別決勝は、団体総合選手権での各種目の上位8チームにより決勝競技を行い、順位を決定します。各種目ともリザーブは1チームとします。
 - ※ 種目別決勝リザーブチームは、決勝競技の競技開始まで有効として準備して下さい。
 - ※ 種目別決勝進出にあたり同点の場合は、FIG競技規則に準じタイブレークを行います。

5. 採点規則

〔男 子〕(公財)日本体操協会 新体操男子2025年版採点規則を採用します。

〔女 子〕(公財)日本体操協会 新体操女子2025－2028年版採点規則を採用します。

6. 表彰

- ① 個人総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状
 - ② 個人種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状／4位～6位 賞状
 - ③ 団体総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状
 - ④ 団体種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状／4位～6位 賞状
- ※ 同点は同順位として表彰します

7. 参加料

個人競技: 21,500 円

団体競技: 1人あたり21,500 円(6名エントリーの場合21,500円×6名=129,000円)

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

8. 参加申込

- ① 締切期日 2026年9月30日17:00まで
- ② 申込方法 web 登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。
☆ 注 意 ☆ 参加料ご入金をもって、申し込み完了となります。試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金しません。振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。申込確定後の変更・追加は受付しません。

9. 出場辞退について

- ① 出場資格を得た選手及びチームが本大会への出場を辞退する場合、9月30日までに辞退届を提出して下さい。
〔男 子〕個人出場有資格選手及び団体出場有資格チームが出場を辞退・欠員が出た場合、繰上げによる補充を行います。
〔女 子〕個人出場有資格選手及び団体出場有資格チームに出場辞退・欠員が生じた場合、繰上げによる補充は行いません。
- ② 出場資格を得た選手及びチームが本大会への出場を辞退する場合の繰り上げ措置は、試技順抽選日までとします。

10. 試技順抽選について

抽選日 : 2026年10月2日

※ 全ての試技順抽選は参加申込み時に大会本部へ委任したとし、大会本部((公財)日本体操協会)のみで実施します。

11. 運営に関する事項について

- ① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。
- ② AD (Accreditation) カード*2 は、大会関係者全てに発行されます。役職、配布枚数は付録をご覧下さい。
- ③ 伴奏音楽について
演奏方法 : 伴奏曲の演奏はCDとします。
(オーディオ CD 形式(CD-DA)で作成してください。必ず予備を用意して下さい)
再生機器 : 伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。
- ④ 部旗・応援旗の掲示について
会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4㎡とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。
なお、掲載方法については、試技順抽選終了後に連絡します。
- ⑤ 炭酸マグネシウムについて
下記の使用方法を厳守し使用可能といたします。
(1) 粉末タンマは指定されたエリアのみで使用する
(2) 会場内を移動する際はインシューズまたはサンダルの着用を義務付ける
(3) 粉末タンマを使用したチームは適宜清掃を行うことを義務とする
(4) 演技開始時はフロアサイド、前面からの入場を禁止し、フロア後方辺のみより入場を制限するものとする

12. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中(競技終了まで)スポーツ傷害保険をかけます。
- ② 詳細は別途ご案内いたします。
- ③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。大会参加者は健康保険証を持参して下さい。

13. ドーピング検査について

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ② 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- ③ 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。
18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- ④ 本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会30日前までに治療使用特例(TUE)を取得してください。競技会及びTUEが必要か否かは、以下の手続きに沿って確認してください。
1) 自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法
(<https://www.realchampion.jp/what/health/about/>)に該当するかを確認してください。
2) 当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧
(<https://www.playtruejapan.org/code/tue.html>)に掲載されているかを確認してください。
3) 治療使用特例(TUE)の手続き(<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>)を確認し、期限までに提出してください。
- ⑤ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- ⑥ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後1時間の安静が必要となるので留意してください。
- ⑦ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください

14. その他

- ① Web版プログラム掲載用演技写真の送付について
団体よこ長・個人たて長のJPGデータ(100kb以上)を参加申込締切期日までにメールにて送付して下さい。
【アドレス: shintaiso@jpn-gym.or.jp】件名には「全日本写真: 所属名」を記載して下さい。
※用紙印刷されたプログラムは作成いたしません。
- ② 演技写真・映像撮影およびSNSによる広報活動について
(ア) 本大会は記録のため、写真と映像を撮影します。本協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとし、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。これらの行為に対し大会期間中、事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

- (イ) 撮影は許可されたエリアからのみとし、観客席からの撮影は禁止です。なお、撮影者はADカード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。
 - (ウ) 競技普及や体操への人気拡大の目的で、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規定に基づく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがございます。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)に掲載いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、大会期間中、大会事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ③ 所属の車両乗り入れについて
大会申込み後に連絡いたします。

付 録

■2所属記載の注意事項 *1

- (1) 学生(大学生・高校生以下)の**個人競技**参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を「学校名」または「クラブ名」のどちらかを選択できます。社会人は、この限りではない。
 - ① 出場所属団体名の記載は2所属まで可能とします。なお、申込所属団体(チーム)名が第一所属(2所属表記の場合、前表記)となります。
 - ② 両所属の承諾を得ることとします。
 - ③ 登録時に双方の所属に選手登録をしておいて下さい。登録の確認ができない場合は2所属表記できません。
- (2) (1)における所属の双方を表記することが可能です。
 - ① 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
 - ② ①における制限に対し、文字数が多い場合、2所属表示ができない場合があるため／で区切り、合計12文字以内の略称を申告してください。競技帳票・場内表示等に使用します。
例: ○○○○○クラブ／□□高校
 - ③ 団体競技に出場するチームの場合、双方の所属に全選手が登録されていることを条件とします。
 - ④ **但し、予選通過チーム名のみ。予選大会に出場していないチーム名の表記はできません。**
 - ⑤ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- (3) 申し込み完了後の選手変更は原則出来ません。

■ADカードの発行とゾーニング

- (1) 本協会へ選手、選手以外の登録を完了した方のみに、参加申込時に申請された選手・監督・コーチ・トレーナーADカードを発行します。会場では必ず首から下げて着用して下さい。
- (2) ADカード使用に際しては、不正使用のないようにして下さい。
- (3) ADカード発行者の大会当日変更(例:コーチ変更)は認められません。何らかの事情が生じ、変更が必要となった場合は、大会本部が定めた期日内(大会開催前)に理由を添えて申請して下さい。
- (4) 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

〔個人競技：発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監 督	1枚	「監督」とはチームの引率責任者のことです。 大会期間中は、選手団席以外の競技エリア*に入ることができません。 コーチ申請も可能です。 ※選手団席以外の競技エリアとは： 競技フロア（フェンス内）、競技会場（メインアリーナ）、練習会場（サブアリーナ）、ウォーミングアップ会場 のことです。
コーチ	1枚～数枚 最大個人出場 選手数分まで	日本スポーツ協会 JSPC 新体操コーチ3以上の資格保持者であること 「コーチ」とは帯同コーチ（各選手指導者）のことです。 ・申請できるコーチは選手1名につき1名までとします。 ・公式練習時は、全ての競技エリア*に入ることができます。 ・競技中は、競技フロア（フェンス内）以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚または2枚 同所属で複数選手 が出場する場合は 2枚	公式練習時及び競技中は、競技会場（メインアリーナ）と練習会場（サブアリーナ）の音楽席に入ることができます。 ※所属の音楽係を帯同しない場合は、個人コーチ AD または個人選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している者で、治療及び応急処置ができる者に限ります。申込み受付時に申請のあった場合のみ、カードを発行します。 ・競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技フロア内に入場できます。 ・大会中に資格を証明するものの提示を求められる場合があります。大会期間中は常時携帯してください。（電子も可）。 ・公式練習時及び競技中は、競技フロア（フェンス内）外に待機して下さい。 ・治療などを要する場合は、競技フロア（フェンス内）に入ることができます。
【各競技エリアにおける入場人数制限】 <u>競技会場（メインアリーナ）</u> 〔男女共通〕選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内 <u>練習会場（サブアリーナ）</u> 〔男女共通〕選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内 <u>ウォーミングアップ会場</u> 〔男女共通〕選手1名、コーチ1名、トレーナー1名の3名以内		

〔団体競技：発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監 督	1枚	「監督」とはチームの引率責任者のことです。 大会期間中は選手団席以外の競技エリア※に入ることができません。 コーチ申請も可能です。 ※選手団席以外の競技エリアとは： 競技フロア（フェンス内）、競技会場（メインアリーナ）、練習会場（サブアリーナ）、ウォーミングアップ会場 のことです。
コーチ	最大2枚まで	日本スポーツ協会 JSPO 新体操コーチ3以上の資格保持者であること。 「コーチ」とは帯同コーチ（各選手指導者）のことです。 ・申請は、団体1チームにつきコーチ2名までとします。 ・公式練習時は、全ての競技エリア※に入ることができます。 ・競技中は、競技フロア（フェンス内）以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚	公式練習時及び競技中は、競技会場（メインアリーナ）と練習会場（サブアリーナ）の音楽席に入ることができます。 ※所属の音楽係を帯同しない場合は、団体コーチ AD または団体選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している者で、治療及び応急処置ができる者に限ります。申込み受付時に申請のあった場合のみ、カードを発行します。 ・競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技フロア内に入場できます。 ・大会中に資格を証明するものの提示を求められる場合があります。大会期間中は常時携帯してください。（電子も可）。 ・公式練習時及び競技中は、競技フロア（フェンス内）外に待機して下さい。 ・治療などを要する場合は、競技フロア（フェンス内）に入ることができます。

【各競技エリアにおける入場人数制限】

競技会場（メインアリーナ）

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内

練習会場（サブアリーナ）

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内

ウォーミングアップ会場

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の11名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の9名以内